

SHIMIN PHOTO

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島

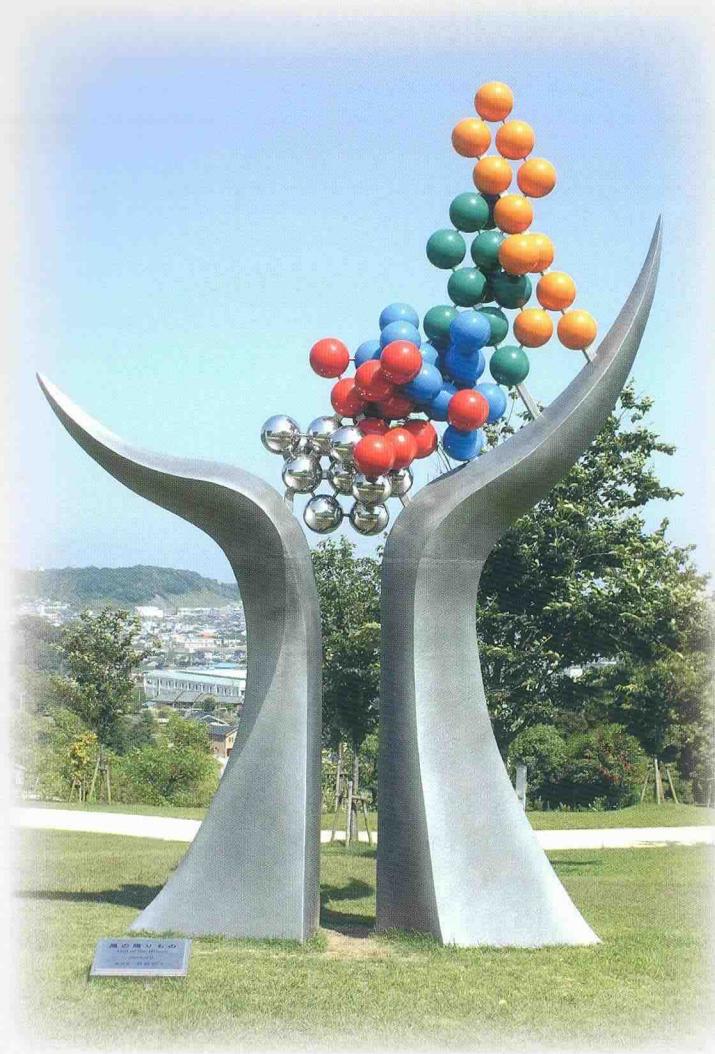
NO.105

平成18年7月1日発行



屋外のオブジェ

Outdoor Objet



【風の贈りもの】
～鹿児島ふれあいスポーツランド～

CONTENTS

【特集】鹿児島道ロマン 3

クローズアップ 12

未吉竹二郎さん 14

学校探訪 16

明和中学校 18

カメララットピックス 20

石原和弘さん 22

私の好きな場所 24

鐘撞ヨシエさん 26

ふるさと再発見～文化財編～ 28

花尾神社社殿 30

吉野写友会 32

あなたのフォトサロン 34

横田博臣さん 36

よかタイム 38

横田博臣さん 40

街角ウォッチング 42

鹿児島中央駅西口周辺 44

わが家の味じまん 46

原さんノアリーリー 48

館のたからもの 50

市立美術館 52

原さんノアリーリー 54

わが町上空 56

市立病院周辺 58

市立公園企業編 60

30

29

28

27

26

24

22

20

18

16

14

12

3

★表紙写真説明

輝く緑の中で気分もそつ快
(寺山自然遊歩道)

特集

鹿児島道口マン

私たちのくらしとともにある「道」。

「道」は人や物の交流を盛んにし、まちに元気を与えてくれます。

また「道」を歩いていると、そのまちの歴史を感じることができます。

今回の特集は、南九州の中核都市として発展を続ける鹿児島市の魅力を

「道」や「通り」をキーワードに紹介します。

歩く自然遊歩道

牟礼岡自然遊歩道



市北部に位置する標高552.3mの牟礼ヶ岡山頂付近にある全長約2.6kmのコース。

頂上の牧神様周辺からは市内でも指折りの景観を楽しむことができます。



寺山自然遊歩道



市街地の北東に位置する吉野台地にあり、霧島屋久国立公園の一部で、自然の景観にめぐまれたコース。

全長約2.5kmのコースは比較的起伏が少なく、途中には西郷さんにゆかりの史跡などがあります。

三重岳自然遊歩道

J.A.皆与志支店前から、展望の優れた標高486mの三重岳山頂まで約4kmのコース。

山頂からは市街地や錦江湾、桜島を望むことができます。



城山自然遊歩道

照国神社横の探勝園からと、薩摩義士碑の岩崎谷側から遊歩道に入り、自然を観賞しながら展望台へ至る約2kmのコース。

市街地の中にある遊歩道で、軽装で気軽に利用でき、市民や観光客に人気です。



慈眼寺自然遊歩道

慈眼寺公園のバス停留所近くの入口から公園に入り、和田川づたいに史跡や自然を楽しみながら、谷山神社に至る一周約3kmのコース。



錫山自然遊歩道

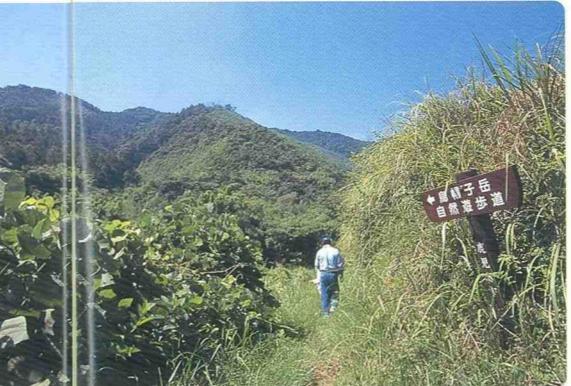


下福元町錫山から南さつま市と川辺町との境を通り、国道225号向原までと、松ヶ野から錫山までの全長約15kmのコース。

コース沿いでは緑の中の清流や田園風景など豊かな自然に接することができます。



烏帽子岳自然遊歩道



平川駅から烏帽子岳山頂まで約4.5kmの登山コースと平川動物公園から烏帽子岳山頂まで約8.4kmの平川動物公園コースの2コース。

登山をしながら豊かな山の緑、わき出る清水、野鳥のさえずりや飛び交う昆虫などを楽しめます。

市内にある7カ所の自然遊歩道。豊かな自然の癒やしを満喫されたいかがでしょう？

市街地の眼前にそびえる活火山「桜島」と波静かな錦江湾に象徴されるように、豊かな自然を有する鹿児島市。人口六十万人を擁する南九州の中核都市ですが、市の中心部から車を三十分も走らせるところ緑豊かな自然が広がっています。

市内には、山歩きなどを通じて自然に親しみ、心身の健康の場として

利用していただくため、自然遊歩道を七カ所八コース設けています。ストレス社会ともいわれる中で、まちの喧騒から離れ、鳥のさえずりや虫の鳴き声、緑の輝きなど、自然の中に身を置くだけで、気分は爽快。健康づくりに最適です。ぜひ、お近くの自然遊歩道に出かけて、爽やかな一日を過ごしてみませんか。

自然遊歩道の楽しみ方



野田 祢年さん
(自然遊歩道協力員)

今年の4月に開設した牟礼岡自然遊歩道は、登山道の自然をはじめ、風力発電施設の迫力、山頂からの眺望などの見どころがあります。

自然遊歩道を歩くときは、このような見どころや、歩く人同士のふれあいを楽しみながら散策するといいですよ。



牧神様祭り(まつがんさまつり)

鹿児島の歴史に触れる

歴史探しの道

島津氏七十七万石の城下町として栄えてきた鹿児島市。鹿児島が藩政の中心地として発展した始まりは、第六代氏久が東福寺城（清水町）を居城としたときからです。

その後、慶長七（一六〇二）年に第十八代家久が鹿児島（鶴丸）城を築城。以後、明治四（一八七一）年まで居城になりました。また、築城に併せて、現在の中心市街地のもとになった城下町も整備されました。

そして、近代日本の黎明期、明治

維新においては、薩摩藩が中心的役割を果たしましたが、特に加治屋町周辺は、西郷隆盛、大久保利通はじめ、大山巖、東郷平八郎など多くの英傑を輩出しました。

戦災などにより、当時をしのばせる面影が少なくなっていますが、まちを歩いていると、鹿児島の歴史ロマンにふと出会うことがあります。あなたも鹿児島の歴史探しに出かけみませんか。

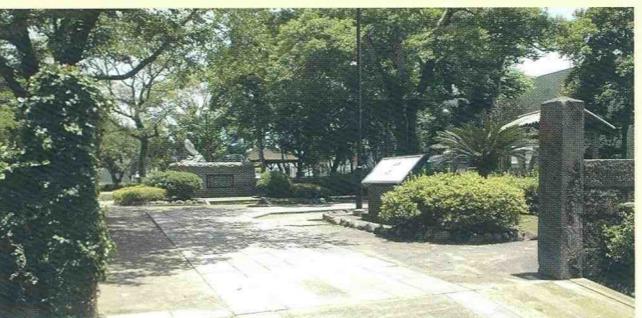
鹿児島の歴史の楽しみ方



福田 賢治さん
(維新ふるさと館歴史解説員)

鹿児島は歴史探訪の宝庫です。歴史をより楽しく訪ねるには、「島津氏の遺功を探る」、「西南戦争をしのぶ」、「偉人の偉業をたどる」などテーマを設定すると意義ある探訪となります。

そして、史跡を単に見るのではなく、何か一つでも印象に残るような特色を見つけるとよいでしょう。史跡の形状や文字など何でも構いません。そこにある事物から何かを自分で探し出すことによって、当時の人々の様子や考え方などがしのばれ、歴史の重みを実感することができます。



西郷屋敷跡(武二丁目)

鹿児島市の発祥の地である上町地区一帯は、島津氏の菩提寺である福昌寺跡や南洲墓地などの史跡が多く、沿道は上級武士の館跡の石垣などが名残をとどめている。



水上坂 (みつかんざか)

参勤交代の一行も通つた道で、西田橋を渡り、最初にたどりつく坂。入口に御仮屋や泉があつた。水の出るところの上の坂道ということが名前の由来とされる。現在も水神様が祭つてある。



白銀坂 (しらかねざか)

鹿児島の主要街道である大口筋の難所とされ、鹿児島市から姶良町までの約2.7kmの歴史街道。

歴史と文化の道



城山を背後に控え、鶴丸城跡や私学校跡などの史跡が多く残るエリアで、今では歴史資料館や美術館などの文化施設が建ち並んでいる。

鹿児島の元気に会える

にぎわいの道

天文館通りを中心とした広域型の

商店街「天文館」は、南九州最大の繁華街であり、アーケードのある通りとしてもおなじみ。

中心市街地の空洞化が大きな問題となっている中、鹿児島市は中心市街地が活性化している地方都市として高い評価を受けています。

さらに、平成十六年三月に九州新幹線が部分開業。同年九月には鹿児島中央駅に「アミュプラザ鹿児島」

が、そして十七年四月にはウオーターフロントに大型商業施設「ドルフィンポート」がオープンしました。

これらの新たな商業施設のオープンにより、中央駅から天文館、ウォーターフロント地区へと新たな人の流れも生まれ、県内外から多くの人が訪れています。

多くの人でにぎわう「天文館」で楽しい時間を発見してみませんか。

天文館の楽しみ方

天文館通りを中心に、縦横に通りが交差している天文館。歩いてみると各通りにそれぞれに特色があり、最先端のファッショングルメ、娯楽などを楽しむことができます。



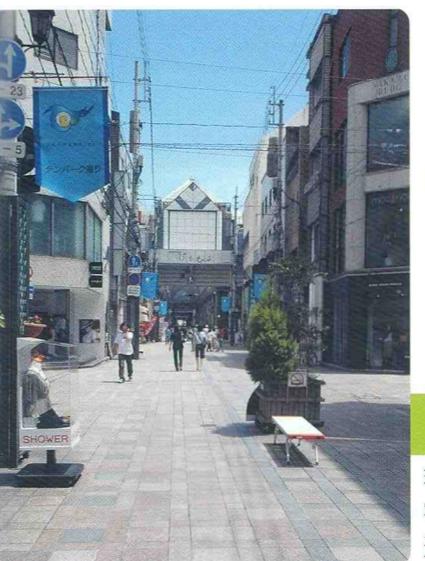
天文館本通り

天文館のメインストリート。天文館にちなみ、夜は照明で天の川の四季を演出。

衣

テンパーク通り

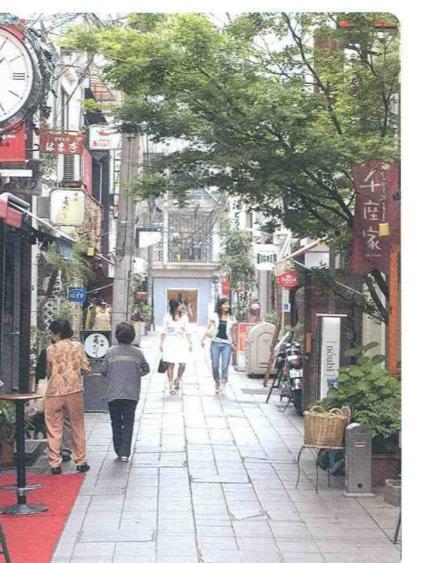
若者に人気のブティックや美容室が軒を並べ、ファッショングルメ通りとも呼ばれている。



食

グルメ通り

郷土料理店から西洋料理店まで30数店舗が軒を並べる。



樂

文化通り

居酒屋やスナックが軒を並べる通りで、夜はネオンサインがきらめいている。



天文館通りを中心とした広域型の商店街「天文館」は、南九州最大の繁華街であり、アーケードのある通りとしてもおなじみ。

中心市街地の空洞化が大きな問題となっている中、鹿児島市は中心市街地が活性化している地方都市として高い評価を受けています。

さらに、平成十六年三月に九州新幹線が部分開業。同年九月には鹿児島中央駅に「アミュプラザ鹿児島」

が、そして十七年四月にはウオーターフロントに大型商業施設「ドルフィンポート」がオープンしました。

これらの新たな商業施設のオープンにより、中央駅から天文館、ウォーターフロント地区へと新たな人の流れも生まれ、県内外から多くの人が訪れています。

多くの人でにぎわう「天文館」で楽しい時間を発見してみませんか。

来街者が歩いて楽しい通りへ



有馬 勝正さん
(中央地区商店街振興組合連合会理事長)

天文館は鹿児島の象徴のひとつ。訪れる人に楽しんでいただけるよう、商店街が一体となって、市民参加型のイベント「バリアフリー天文館」を実施するなど、その魅力づくりに向けて、さまざまな取り組みを行っています。

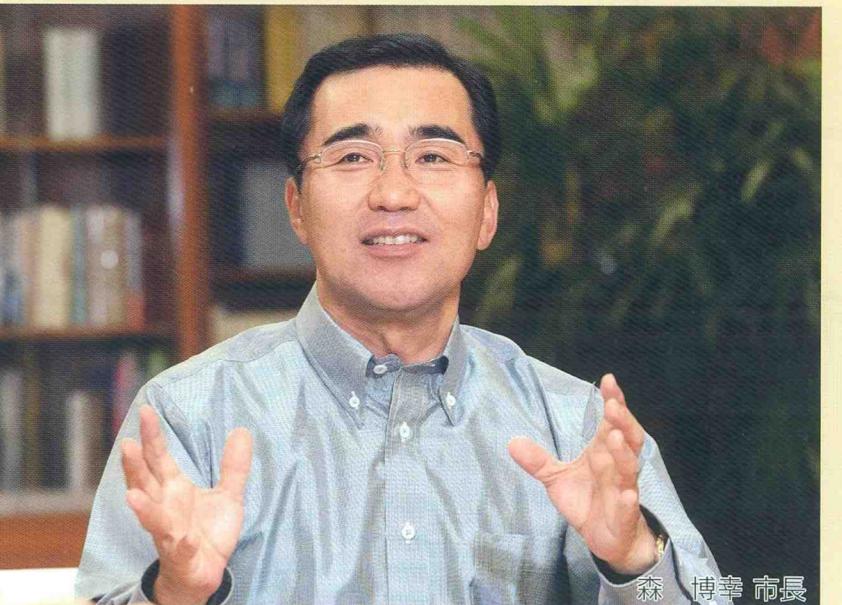
今回、国の「がんばる商店街77選」にも選ばれました。さらに、魅力ある天文館となるよう知恵を絞って取り組んでいきたいと思います。



市長に聞く

「市民が親しみ、憩える道を」

散歩しています。早朝の散歩の魅力は、何と言つても桜島の風景が素晴らしい、また、花や実をつける草木から季節の移り変わりをつぶさに肌で感じることができます。散歩をする人同士で交わすあいさつもなかなかないものですね。



■市民の皆さんに 散策してもらいたい道は。

子どものころ、両親の故郷である知覧の武家屋敷のある通りでよく遊びました。そのころは歴史に思いを馳せることはあまりありませんでしたが、今では見事に刈り込まれたイスマキと石垣の織りなす歴史的なたたずまいをなつかしく思い出します。

市内には、特に春、大きなクスノキの新緑の下に燃えるようなヒノデキリシマツツジが咲きほこる「ナポリ通り」や、その近くの明治維新の英傑を数多く輩出した加治屋町周辺の「甲突川緑地の遊歩道」、本市の豊かな自然を活用した七ヵ所の自然遊歩道などたくさんの散策に適した道があります。市民の皆さんには、それぞれの体力やライフスタイルに応じた散策を楽しみ、体力づくりや心身のリフレッシュをして欲しいと思っています。

私は皇徳寺団地に住んでおりますので、毎朝、「ブルーベリーロード」とオシャレな名前がつけられた団地内の散歩道を愛犬のジュンと一緒に

■市長がよく歩かれる道は。

私は皇徳寺団地に住んでおりますので、毎朝、「ブルーベリーロード」とオシャレな名前がつけられた団地内の散歩道を愛犬のジュンと一緒に

【凡 例】

- 自然を楽しむ道
- 歴史探しの道
- にぎわいの道



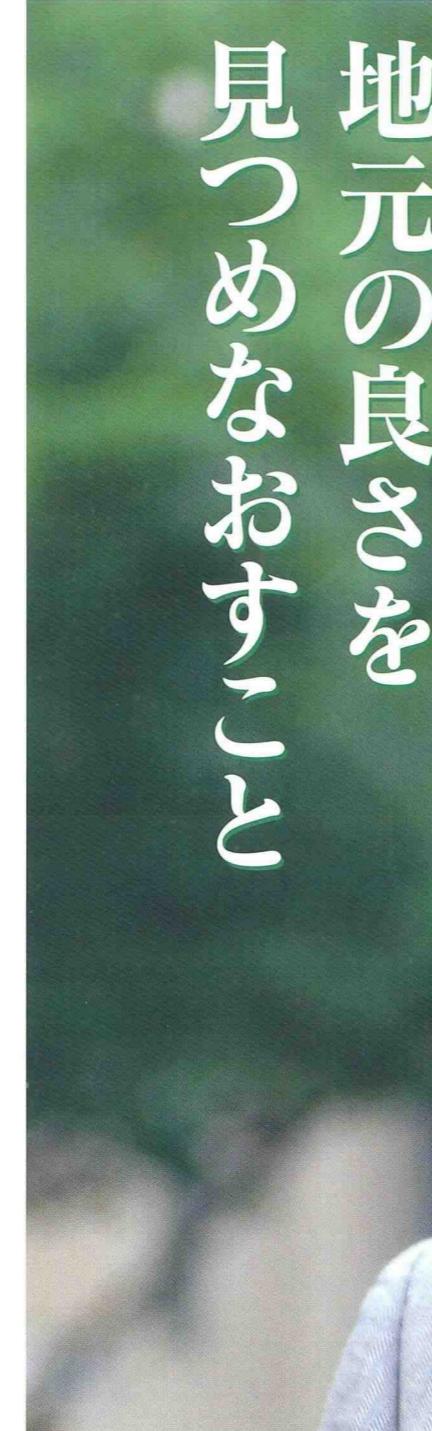
ナポリ通り



ブルーベリーロード



環境を考えることは 地元の良さを見つめなおすこと



鹿児島市が今年度新設した環境アドバイザーに就任した末吉竹二郎さん。銀行での海外勤務などを経て現在、世界の金融機関へ環境に配慮した体制づくりや業務の普及を図る国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問として、地球規模に広がる環境問題に国際的視野で取り組む。

金融から環境の仕事へ

銀行を就職先に選んだのは、いろいろな分野の仕事をしてみたいという希望もあった。「外国や国際的なことに興味を持つようになったのは、まだ鹿児島では外国人が珍しかった時代に中学、高校と過ごしたラ・サールの6年間とそこでの外国人の「ラザー（修道士）たちとの出会いが原点」と話す。

銀行員生活32年の半分は東南アジアやニューヨークなどの海外勤務。「金融機関はどこにお金を融資するかを決める。簡単な例で言うと、環境に配慮した企業にお金を貸す銀行が増えれば、環境に配慮した経営が産業界に広がっていきます。日本の銀行が不良債権の処理に追われている間に欧米の銀行はすっと早い時期から、この金融の社会的責任を考えていたんです」。そして、今から7年前、当時いた投資信託会社が環境をテーマにした金融商品を日本で初めて売り出すと、若い人や女性を中心に関想をはるかに超えて売れた。「ただ、お金がもうかることだけを考えるのでなくして、何か社会の役に立つ。そういう風に考える人が日本にも増えていることが分かつたんです」。このニュースが海外に伝わると、大きな反響を呼び、

温暖化を防ぐため



高校時代、校庭の前はまだ砂浜で、桜島を眺めながら弁当を食べた

「環境に配慮する」と聞くと、何かを我慢したり、昔のような不便な生活に戻らなきやならないというイメージを持つ人が多い。しかし末吉さんは、「環境ビジネスにはビジネスチャンスに結びつく」と話す。フランスのストラスブールでは周りの森を守り、地球

世界中の金融機関のトップが集まる国連環境計画・金融イニシアティブの会議で話をする機会を得たことが今の仕事に携わるきっかけとなつた。

環境がよくなれば 経済もよくなる

今、世界各地で太陽光や風力、地熱など石油以外の新しいエネルギーの利用が進んでいる。「鹿児島の特性を生かせば、ビジネスチャンスはいくらでも考えられる」。60万人の人が暮らす街のすぐそばに活火山とそれを取り囲む美しい海。「世界の都市でも5本の指に入る景観なんじゃないでしようか」。観光資源として自然を守っていくこともチャンスのひとつ。「環境はそこに住む人の生活、地域経済すべてに関わる大きな問題。それを取り組むには行政と企業、住民の連携が不可欠です。これまでのわたしの経験をそのために役立てることができたら」。郷土への熱い想いが、今、環境文化都市「鹿児島」づくりに生かされようとしている。

鹿児島には可能性が多くある

に新しく路面電車を導入し、中心部への自動車の乗り入れを禁止した。そして、その地方固有の文化の振興にも努めた。その結果、生活の場としてのストラスブールの評価は上がり、たくさんの研究者や学生が移入して、現在では研究所や大学などの集まるヨーロッパ有数の街として栄えている。

今、世界各地で太陽光や風力、地熱など石油以外の新しいエネルギーの利用が進んでいる。「鹿児島の特性を生かせば、ビジネスチャンスはいくらでも考えられる」。60万人の人が暮らす街のすぐそばに活火山とそれを取り囲む美しい海。「世界の都市でも5本の指に入る景観なんじゃないでしようか」。観光資源として自然を守っていくこともチャンスのひとつ。「環境はそこに住む人の生活、地域経済すべてに関わる大きな問題。それを取り組むには行政と企業、住民の連携が不可欠です。これまでのわたしの経験をそのために役立てることができたら」。郷土への熱い想いが、今、環境文化都市「鹿児島」づくりに生かされようとしている。

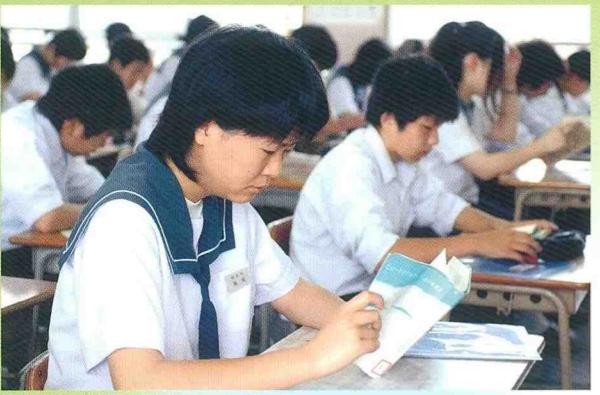
末吉竹二郎さん

略歴

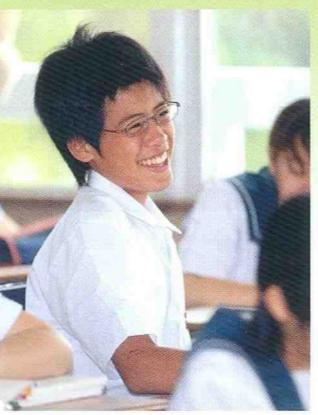
昭和20年	鹿児島市に生まれる。
昭和42年3月	東京大学経済学部卒業
昭和42年4月	三菱銀行入行
平成6年4月	ニューヨーク支店長
平成8年4月	東京三菱銀行信託会社(ニューヨーク)頭取
平成10年6月	帰国
平成14年6月	日興アセットマネジメント副社長
平成15年7月	退社
平成18年5月	国連環境計画・金融イニシアティブ・アジア太平洋地区特別顧問 鹿児島市環境アドバイザーに就任

Close Up

クローズアップ



毎日の朝読書。次第に心が落ち着いていく



高台の団地内にある学舎



昨年の県中学校総体で女子は優勝、男子は準優勝



創立 昭和51年4月 生徒数 354人(平成18年6月1日現在)



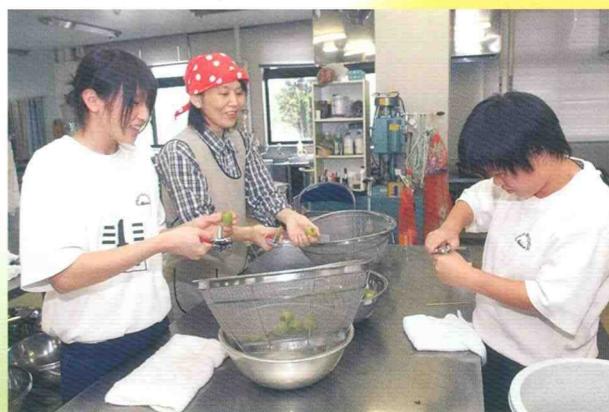
文武両道
～心を磨き 身を鍛え～



弁論大会。自分の意見を熱弁



「明」と「和」を大切にして、昨年創立30周年



慣れない手つきでウメを加工



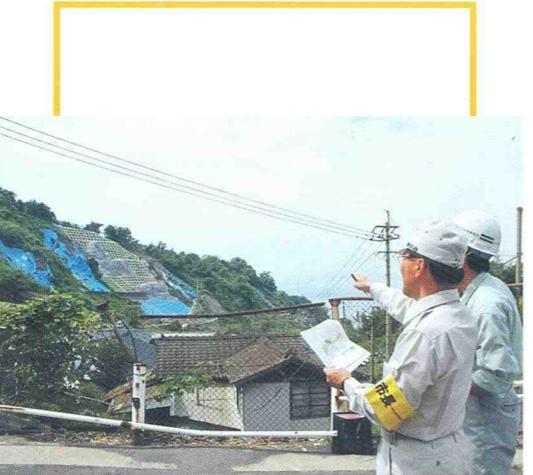
ウミガメの産卵を取材。気分はテレビディレクター

明和中学校





5月21日 第9回渋谷・鹿児島おはら祭
鹿児島からの踊り連や在京の県人会など1600人が参加。東京・渋谷の街に「ヨイヤサー」のかけ声が響きわたり、沿道は多くの観客でぎわいました。



5月11日 防災点検
梅雨を前に、市街地と桜島の砂防工事や、急傾斜地の工事現場などで安全を点検しました。



4月7日 玉龍中高一貫教育校開校式・入学式
九州で初めてとなる市立の併設型中高一貫教育校が開校。6年間のゆとりある学校生活を通して、生徒一人ひとりの個性や創造性を最大限に伸ばしていきます。



5月8日 ふれあいお茶摘み(石谷小学校)
松元地域の特産であるお茶に触れあってもらう、お茶摘みを体験しました。



6月1日 ウミガメ上陸産卵
喜入前之浜町の砂浜で、アカウミガメが産卵しているのが確認されました。同地区では3年ぶりで、106個の卵が確認されました。



5月17~23日 南国鹿児島の物産と観光展～トップセールス
空路で結ばれ、ますます近くなった神戸市で、市長が鹿児島の食と観光のトップセールスを行いました。



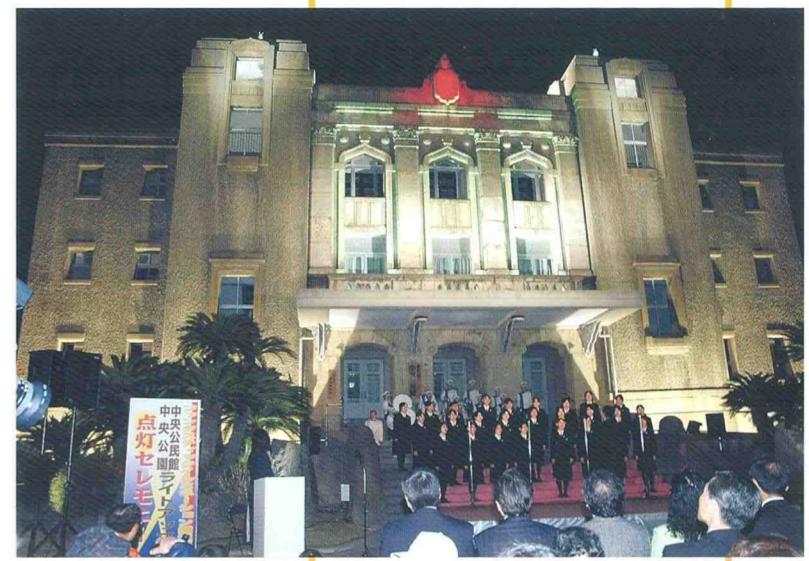
6月9日 サッカーワールドカップ・ドイツ大会日本代表 遠藤保仁選手への市民応援書伝達セレモニー
本市出身の遠藤選手の大活躍と日本の勝利に向けて、市民からの応援メッセージを応援に出かけるご両親に託しました。



5月下旬 スイレン(都市農業センター)
今年も美しいスイレンが花を咲かせました。



5月10日 第16回椋鳩十児童文学賞授賞式
香坂直さん(京都市在住)の作品「走れ、セナ!」に賞が贈されました。



3月25日 中央公民館、中央公園ライトアップ
鹿児島の夜の観光の魅力づくりとして、中央公民館、中央公園をライトアップ。幻想的な光が彩り豊かな「夜の鹿児島」を演出します。



3月27日~4月7日 繁忙期の市民窓口開放
異動時期の混雑緩和のため、今年から平日の窓口の時間延長と土・日曜日の窓口を設けました。

まるごと 桜島

錦江湾に浮かぶ活火山「桜島」。時には厳しく、時には優しく、激しさと静かさを兼ね備え、見る人の心を引きつけます。

市民生活の風景「桜島」をシリーズで追います。



桜島は研究者の探究心をくすぐる山



ハルタ山観測室から見る桜島

桜島との出会い

昭和21年以来穏やかだった桜島。昭和30年10月に再び活発に活動を始めました。この活動は昭和35年あたりをピークに、いったん治まりつつありました。が、昭和47年にまた活発になりました。

私が桜島火山観測所に赴任して来たのは昭和49年の4月。当時、静かに迎え入れてくれた桜島も5月くらいから本来の姿を見せ始めました。初めて聞く桜島の爆発音。市街地とは違い、10秒足らずで音が聞こえます。外に出ると、山の斜面を真つ赤な噴石がころがっていくのがよく見えました。火碎流や赤いマグマを目撃する当たりにして、なぜ噴火が起きるのか、噴火が起きる前に何が起きているのか——桜島に対する興味がそれまで以上に湧いてきました。

10km下に、1年間に約1000万m³のマグマがたまっています。大きな噴火ではありませんが、たまでは出し、たまでは出しと活動を続けています。このように火山の噴火の仕組みが、世界の中で最もよく分かってきた火山のひとつでもあります。

桜島は活火山

ここ30年で桜島の風景は様変わりしました。流出した溶岩で形成された溶岩原には松の木などが生え、噴火によってできた穴も、灰で埋まっています。

その自然の変化とともに桜島に対する考えが変わってきたのが怖いですね。以前は少しでも桜島がおとなしくなると「爆発のエネルギーをため込んでいるのではないか」、「次に大きな爆発がくるのではないか」と心配の電話がよく来ていたのに、今は来ないです。桜島はこんなものだと思う人が増えてきています。

おとなしくなっていると言われている桜島。今はマグマをためておらず、間違なく噴火が起っているのです。

取材メモ



京都大学防災研究所
附属火山活動研究センター長
石原 和弘氏

話をしてくれた人

きるでしょう。南岳からの大爆発、南岳の噴火口のマグマの通り道が詰まるところで起きる、大正3年の大噴火のような山の中腹からの大破裂、そして錦江湾からの爆発の三つが想定されています。これは私たち人間に決められることではありません。日ごろの防災に対する心構えのほかに桜島をよく知ることが大切なのではないでしょうか。

取材後、約60年ぶりに南岳東側斜面の昭和火口で噴火があり、先生の予見が的中。研究の進歩に驚かされました。そしてあらためて活火山「桜島」のエネルギーのすごさと怖さを感じました。

世界の研究者たちにとって、桜島は研究意欲をかき立てる存在なんですよ。

火山の研究が進む

研究者にとって桜島は元気のよさが一番の魅力。平成4年ごろまでの20年間、毎年火山灰を約1000万トンから3000万トン出していました。平成12年以降は1000万トン以下、最近では10万トンをきっています。それでも2年前の浅間山の噴火と同じくらいの量が出ています。桜島が穏やかな状態でも、日本のほかの活動している火山の規模と同じなのです。

元気な桜島だからこそ、研究が進んできました。錦江湾の北側の約



体に感じることのない微震を観測する機械。その結果をもとに桜島の活動状況を研究する。

いろり端での昔話 目に浮かぶ子どもたちのまなざし

県立短期大学を卒業後、わたしは開聞中学校で、二十数年にわたる教員生活の



いろりを囲んで昔話

すよ。

この建物は、昔話には最高の場所。家の
中にはいろいろがあつてね。火がパチパチと
燃える中、身ぶり手ぶりを交えて話を始
めると、それまでにぎやかさが、うその
ようにしーんと静かになってね、子どもた
ちの目がみるみる輝いて、身を乗り出して
うなずきながら聞いてくれるんです。

昔話の始まりは、いつもこうですよ。
「あつたこつか、なかつたこつか、知いもさん
ばつ、ま、聞つきやつたもんせ」。

黎明館屋外展示 「二一つ家民家」

県歴史資料センター黎明館裏手に、わ
らぶき屋根の民家があります。この建物

は藩政時代のものだそうで、いつもは訪れ
る人も少ない所です。おととしまで毎年一
回、館の主催で、子どもたちに昔話を語つ
ていたときは、家の中はとてもにぎやかで
ね。今でも昨日のことのように思い出しま
すよ。

この建物は、昔話には最高の場所。家の
中にはいろいろがあつてね。火がパチパチと
燃える中、身ぶり手ぶりを交えて話を始
めると、それまでにぎやかさが、うその
ようにしーんと静かになってね、子どもた
ちの目がみるみる輝いて、身を乗り出して
うなずきながら聞いてくれるんです。

昔話の始まりは、いつもこうですよ。
「あつたこつか、なかつたこつか、知いもさん
ばつ、ま、聞つきやつたもんせ」。



ほとんどを過ごしました。

その間に、一冊の本に出会
いました。それが「あつた
こつか、なかつたこつか、開
聞のむかし話」。

「地元の子どもたちに、地元の昔話を、地
元の言葉で」という思いが込められた本で

ね。わたしは、この本との出会いを機に、教
員を退職後、お世話になった開聞の人たち
に、恩返しをしようと思つて、子どもたち
に読み聞かせを始めたんです。

最近の子どもたちは鹿児島弁を使いま
せん。わたしの話す方言の半分も分からな
いのですが、でも鹿児島人の血なんでしょう
か。方言が持つ心を和ませる独特の音感と
リズム、明るく、あつけらかんとした郷土

の昔話に敏感に反応してくれるんですよ。

流ちような鹿児島弁の会話も最近は聞
かなくなりましたが、熱心に話を聞いて
くれる子どもたちの様子を見て、「方言は
郷土の宝」、捨てたもんじやないとあらた
めています。

将来を担う子どもたちは、最高のも
のを与える。読み聞かせは「充実した
時間」という素晴らしい贈り物だと思います。

昔話の読み聞かせは、子どもの想像力
を養うのに最適なんです。豊かな想像力
は、創造力につながっていきます。想像し、
創造することで、子どもは生きる力を養つ
ていくんですね。

このいろり端で、目をキンキンさせて、
熱心に昔話を聞いてくれた子どもたち
人ひとりの表情を思い浮かべる度に、これ
からも精一杯「語り続けていつもんそ」とい
う気持ちになるんです。

八十路を過ぎた語り部の元気の源
は、聞いてくれる人の「目の輝き」。美し
い鐘の音がいつまでも心に残るように、
鐘撞さんの昔話は、鹿児島弁と一緒に
なつて心に響きわたります。

「目は心の窓」。語り部は、瞳の奥の感
動をしつかりと読み取っています。

【取材メモ】

八十路を過ぎた語り部の元気の源
は、聞いてくれる人の「目の輝き」。美し
い鐘の音がいつまでも心に残るように、
鐘撞さんの昔話は、鹿児島弁と一緒に
なつて心に響きわたります。

「目は心の窓」。語り部は、瞳の奥の感
動をしつかりと読み取っています。

鹿児島方言の語り部

かねつき
鐘撞 ヨシエさん

大正13年、鹿児島市生まれ。
吉野国民学校(現吉野小)代用教員
などを経て鹿児島県立短期大学の第
1期生として昭和27年3月卒業。頃
娃中、開聞中などで教員を務め、昭和
55年に退職。その後、方言での昔話
語り部の活動を25年にわたり続け
た功績により、昨年、第56回南日本
文化賞(地域文化部門)を受賞。



和の
好きな
場所



花尾神社社殿

文 郡山ふるさとを学ぶ会代表 邦山 経玄

君山 繁幸



丹後局の墓

(市指定文化財)



蟻の花尾詣で

十一

花尾神社の例祭の中で、特に秋分の日の丹後局年忌祭が盛大で、参道には多くの出店が並び、近郷近在の人が集いにぎやかである。この日には、郷土芸能「大平の獅子舞」「花尾の太鼓踊り」「岩戸の疱瘡踊り」(いずれも市指定文化財)が奉納され、近年は、古式ゆかしい時代行列を楽しめる「蟻の花尾詣で」も行われ、祭りに花を添えている。

歴代藩主に厚く保護され、付近の住民によつて守り継がれてきた花尾神社。創建から約八百

歴代藩主に厚く保護され、付近の住民によつて守り継がれてきた花尾神社。創建から約八百

を祀る日光東照宮に見られる
権現造りとよく似たものとなつ
てゐる。

社殿の屋根は千鳥破風^{はふ}や唐^{から}
破風を付けた豪華なもので、格
式の高さが感じられ、社殿正面
を見上げると、木鼻^{きばな}（柱と梁の
交わった部分）には、想像上の動
物・猿^{さる}と獅子の彫刻が並び、紅色
の梁や蟇股^{かくそもと}（カエルの股の形を
した装飾）などには、鶴や牡丹な
ど色鮮やかな彫刻が施され、そ
の精巧な構造は壯觀の一語に尽

社は、建保六（一二二八）年に島津氏初代の忠久公が創建したとされ、忠久公の父と伝えられる源頼朝と生母・丹後局のほか、丹後局が厚く敬つた僧侶の永金などが祀られている。

丹後局は、安貞元（一二二七）年に亡くなると遺言により神社入団の丘に埋葬された。参道には今も、安産に御利益があるとされる「おこけ石」のある局の墓や、局が休んだとされる腰掛け石などが残っている。

広大な境内の奥、一段と高くなつた場所にあり、森厳な木立の中、遠目にも鮮やかな極彩色の社殿を仰ぎ見ることができる。

さつま日光と
称される極彩色の社 やしろ

九

を祀る日光東照宮に見られる
権現造りとよく似たものとなつ
てゐる。

社は、建保六（一二二八）年に島津氏初代の忠久公が創建したとされ、忠久公の父と伝えられる源



所在地／花尾町、県指定文化財(建造物)

「かごしまの夏」

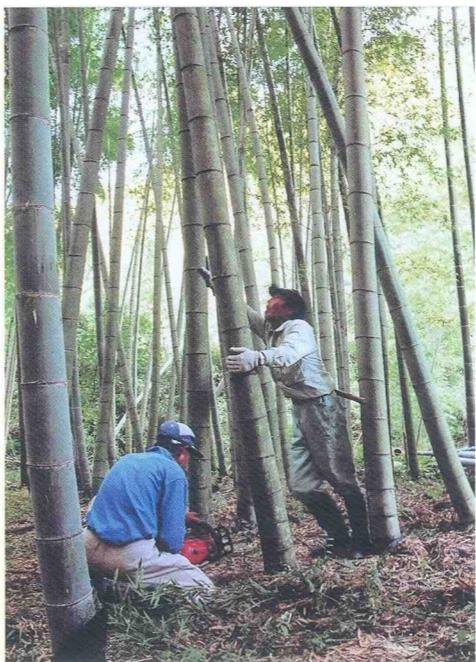
吉野写友会



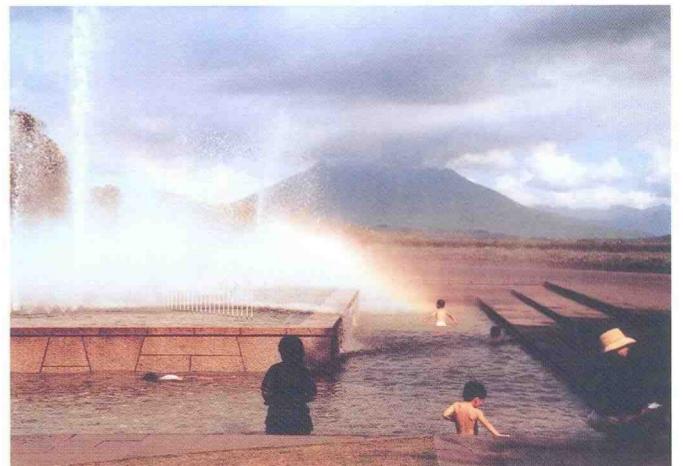
「未来を語る」 金田 繁



「風車の丘」 水之浦 均



「竹林保全」 平原 茂子



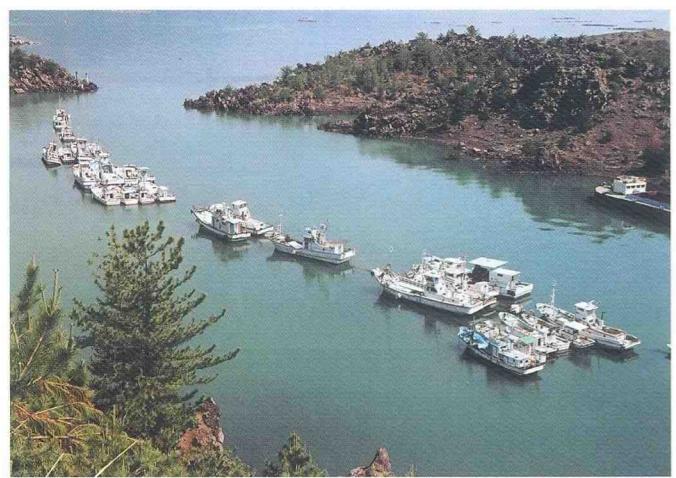
「雨あがり」 木原 達雄



「七夕の頃」 脇田 佳子



「薩摩おごじょのパワー」 長 秀子



「入江一桜島」 迫田 初志



「帆船入港を迎えて」 長 勝幸

よか時間 TIME

市販のものじゃ面白くない。実物を忠実に再現するために細部にこだわり、丁寧に作り上げていく。



模型作り
横田 博臣さん

細部まで作られて
いますね

これまで船だけでも10隻は作りました。最初に写真や図面を集めて、図面がないものは写真から図面を作ります。主な材料には柔らかい木材のバルサ材を使い、切つたり削つたりして形を作り、色を塗りながら組み立てていきます。実物を忠実に再現し、見えないような部分まで作ることにこだわっています。1隻作るのに毎日2時間くらいの制作で3カ月ほどかかります。作っているときは無心になりますよ。

作り始めたきっかけは

20年ぐらい前、ロイヤルカラーラインという帆船を一年かけて作り上げました。大変な製作作業でしたが、今でも一

番愛着があります。普段は家の玄関に飾っています。帆柱からのロープにホコリが付くので1年に1回は新しくものは写真から図面を作ります。主な材料には柔らかい木材のバルサ材を使い、切つたり削つたりして形を作り、色を塗りながら組み立てていきます。実物を忠実に再現し、見えないような部分まで作ることにこだわっています。1隻作るのに毎日2時間くらいの制作で3カ月ほどかかります。作っているときは無心になりますよ。

これから予定は

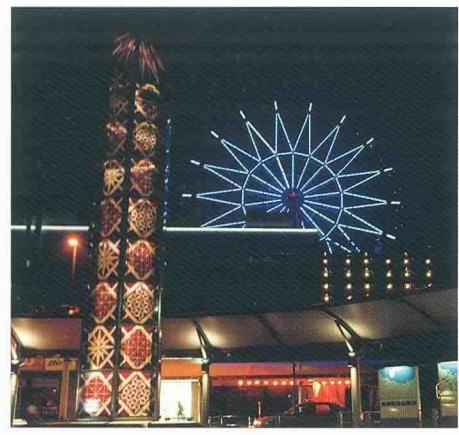
今は2台目の蒸気機関車D51を作っています。桜島フェリーのプリンセスマリンや超低床電車のユートラムも作ったので次は新旧のカゴシマシティビューを作ろうと思っています。ぼけ防止も兼ね、手先が動く限界は作つておきたいですね。





街角ウォッチング

～鹿児島中央駅西口周辺～



味じまん家

「お好み焼き」
「たこ焼き」

原さんファミリー
[玉里団地三丁目]



家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語らいがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。

鹿児島市内におよそ25万8千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩っているのだろうか。

今日の夕食作りは、お父さんの博章さんと貴俊くん、幸佳ちゃんの出番。

テーブルの上にはホットプレートとたこ焼き器が用意され、貴俊くんと幸佳ちゃんのお手伝いが始まった。「これをひっくり返して」と、すかさずお母さんのま

すみさんの声援がとぶ。

「味見してもいい?」が、いつのまにかお手伝いそつちの内で本格的に食べ始めてしまうので、「作るのが追いつかなくなることもしばしば」と博章さん。

ふつくらと焼きあがったたこ焼きは、チーズ入りやキムチ入りなど種類も豊富。お好み焼きにはホイップクリームの入ったやさしい味のソースがかけられ、ボリューム満点。準備中はとてもぎやかだった

貴俊くんと幸佳ちゃんも、勢いよく食べ始めた。一緒に作った食事の味は、また格別。

貴俊くんが小さい頃、泥遊びもできる元気な子になるようにと、それに似た感覚のぎょうざ作りを家族で始めたのをきっかけに、今ではお母さんとケーキを作ったり、お父さんとキヤンブに出掛けでご飯を作ったりもするそうだ。

さらに、家庭の庭や都市農業センターの市民農園では、なすや枝豆などの夏野菜を育てていて、現在、その収穫を心待ちにしている原さん一家。家族みんなで食事を作る機会もますます多くなりそうだ。

今回のレシピ

「お好み焼き」

1. 材料(4人分)

A(お好み焼き粉600g、水1000cc、卵3個、キャベツ1/2個、あげ玉・ほしうび適量)、豚肉400g、お好み焼きソース・ホイップクリーム・青のり・花かつお適量

2. 調理手順

- ①Aを混ぜて生地を作り、ホットプレートで片面を焼く。
 - ②豚肉をのせて裏返し、反対側の面も焼く。
 - ③ソース、青のり、花かつおをかけてできあがり。
- ※お好み焼きソースにホイップクリームを入れるのがポイント。



「たこ焼き」

1. 材料(4人分)

A(たこ焼き粉400g、水1500cc、卵3個)、B(ピザ用チーズ、和風キムチ、キャベツ、紅しょうが)、たこ・たこ焼きソース・マヨネーズ・青のり。

花かつお適量

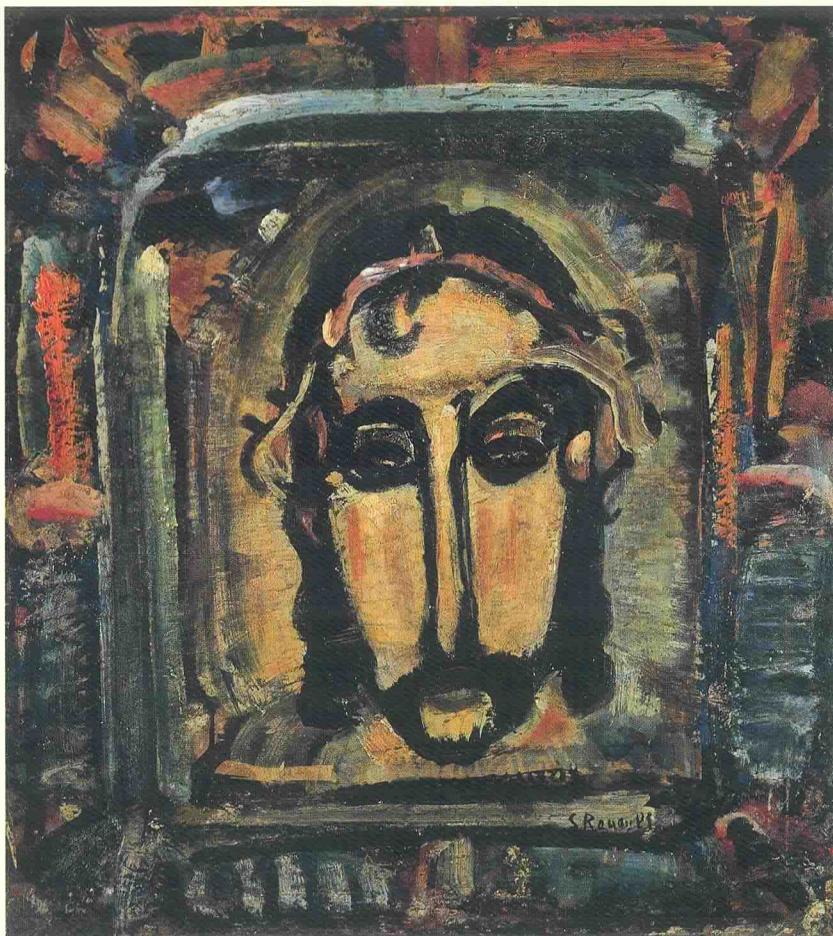
2. 調理手順

- ①Aを混ぜてゆるめに溶き、たこ焼き器に半分ほど流し込んで、たこを入れる。
- ②Bの好みの具を加え、さらに生地を流し込む。
- ③躰同士を切り離し、ひっくり返す。
- ④ソース、マヨネーズ、青のり、花かつおをかけてできあがり。



市立美術館

ジヨルジュ・ルオー「聖顔」



ルオーは半世紀の間に40点もの「聖顔」の作品を描いていますが、日本では清春白権美術館(山梨県)と当館でそれぞれ1点ずつ鑑賞することができます。

聖顔の伝説とは、ヴェロニカという女性が苦しむキリストの顔をヴェールでぬぐつたところ、その顔が生き写しになったという奇跡の話です。では、ルオーはなぜこんなにもヴェロニカの伝説を描き続けたのでしょうか。

ひとつには、ドイツの修道女が見たというヴェロニカの幻覚が当時話題になつて

いて、ルオーも非常に興味をかき立てられたようです。もうひとつは、友人で作家のレオン・プロワの影響でした。彼は長女にも、また自分の小説の主人公にも、ヴェロニカという名前をつけてこの聖人を崇拜していました。

ヴェロニカとは「ヴェラ・イコン=真の像」を意味します。ルオーも虚飾をはぎ捨てた真実の絵を描くことだけを求め続けたのでしょうか。

(市立美術館学芸員 谷口 雄三)



【市立病院周辺】

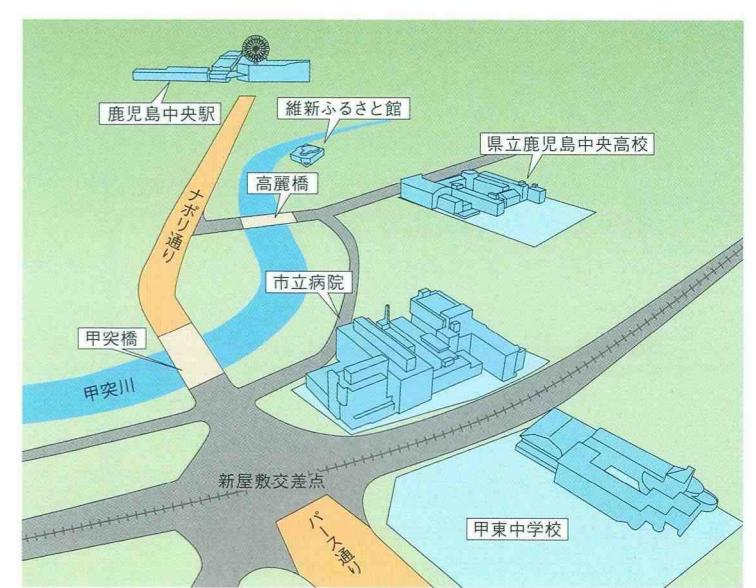
昭和51年に日本で初めて誕生した五つ子で注目された市立病院は、昭和15年に南林寺町に市立診療所として発足し、昭和23年に現在の加治屋町に移転しました。

ベッド数667床、一日外来患者数は1200人を越え、九州の自治体病院では最大規模の病院です。

写真奥に見える鹿児島中央駅と海岸を結ぶ延長約2km、広いところで幅50メートルに及ぶ幹線道路は戦災復興事業で整備されました。姉妹都市にちなんで、新屋敷交差点から西をナポリ通り、東をバース通りと命名し、沿道にはクスノキやツツジが植えられ、市民に親しまれています。

西郷隆盛や大久保利通をはじめ多くの明治維新の英傑を輩出した甲突川河畔の加治屋町一帯は、市民や観光客が歴史を感じながら散策を楽しめる空間、「歴史ロード」「維新ふるさと之道」(仮称)として整備する計画を進めています。

わが町上空 公営企業編



編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 216-1133

印刷・レイアウト／海上印刷株式会社

